

「唐木<sup>からぎ</sup>」と呼ばれる堅く上質な木を用い、百年の伝統をもつ東京仏壇を扱う「仏壇あとう」には、仏壇選びや供養に関する相談が多く持ち込まれる。

「一番多いのは、戒名に関するご質問ですね。現在は先祖供養の形も多様化していますので、俗名でご位牌をつくられる方もいらっしゃいます

よ」と三代目の阿藤広行さんは話す。他にも、仏壇の前で手を合わせる時、灯り（蠟燭・音（おりん）・香り（線香）の三つが欠かせないと言われるが、現在ではより安全なLEDの灯りやアロマストーンの香りが用いられることも多いという。「大切なのはしきたりを頑なに守る事ではなく、ご自身



形は現代的な家具調でも、職人が細部に至るまで手作業で作りに上げる。美しいフォルムのこちらは天然柶を用い、明かりはLED、内部に納骨が出来る等、機能性にも優れている

## 仏事の疑問や相談に寄り添う 東京仏壇の老舗

# 仏壇あとう

〈本店ショールーム〉  
東京都台東区台東 3-27-11  
TEL 03-3835-8777  
〈小島店ショールーム〉  
東京都台東区小島 2-6-3  
TEL 03-3851-4440  
営 10:00~19:00 休 水曜  
<http://www.atou.co.jp/>

左／三代目・広行さんと、四代目の裕さんは昔みだり金物だった仏具も、現在は陶器やクリスタルなど様々な素材で作られている

